

第54号議案

「第7回平和を願う文京戦争展」の後援名義の使用について

上記の議案を提出する。

令和7年6月4日

提 出 者 文京区教育委員会

教 育 長 丹羽 恵玲奈

別記様式第1号（第6条関係）

文京区教育委員会 共催・後援 名義使用申請書

2025年4月30日

文京区教育委員会 殿

申請者（申請団体） 平和を願う文京戦争展実行委員会

住所（所在地） 文京区本町5-15-12

代表者名 (ふりがな) 小竹 結子

代表者連絡先 (事務担当者) 03-3828-2949

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 共催・後援名義を使用したく、申請します。

記

事業名		第7回平和を願う文京戦争展
共催又は後援名義等の使用を必要とする理由		別紙
実施期間		2025年8月10日(日) から 、 年8月12日(火) まで (3日間)
実施場所		文京ビックセター アートサロン
事業内容	目的※	別紙
	内容	〃
	対象者	〃 (参加予定人員 人)
	参加費	なし
他団体の共催、後援等(申請中、承認済の別)		別紙
備考		
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに <u>同意する</u> ・ 同意しない		

※「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

文京区教育委員会後援申請

事業名 2025 年第 7 回平和を願う文京戦争展
村瀬守保写真展、戦後 80 年再び戦争する国にさせない―沖縄の歴史と現状―

後援申請 小中・高校生を始め、教える教師や保護者も戦争を知らない世帯になっており、
の理由 区民の過半数を超えています。
文京区は「平和宣言」、「非核平和都市宣言」をしています。
東京大空襲や原爆等の被害の歴史と共に、その原因となった日本が中国・アジア諸国を侵略した加害の歴史をきちんと伝えることは、重要になっています。
再び戦争を繰り返さないためにも、戦争を知らない世代が見て歴史を知り話し合う機会をつくることが重要です。
そのためには、教育委員会の後援は欠かせません。

実施期間 2025 年 8 月 10 日（日）から
2025 年 8 月 12 日（火）までの 3 日間

場所 文京シビックセンター アートサロン

目的 別紙「事業の目的」

内容 村瀬守保氏の戦場の写真、沖縄の歴史と現状の写真等
写真 元兵士の証言 DVD 上映 記念講演

対象者 区内小・中学校の児童・生徒・教師・保護者・高校生・大学生・区民他

参加費 入場無料

他団体共催 日本中国友好協会、同東京都連合会

「平和を願う文京戦争展」 実施要綱・事業計画書

1. 事業の目的及び内容

「平和を願う文京戦争展」は今年で7回目を迎えます。2019年第1回はマスコミにも取り上げられ、1500人を超える方々が来場し、2020年第2回はコロナ禍で500人、2021年第3回もコロナ第5波の中に400人弱、2022年第4回もコロナ第7波の中に500人超、2023年第5回は550人超、昨年（2022年）の第6回は8月末に行ったこともあり300人超の来場者を得ました。

4回目の2022年は大学生13人（3.0%）がアンケートに答え、30代以下の若い世代がいずれも来場者の23.1%と増加をみたことは、嬉しいことでした。アンケートには「戦争を知らない若い世代に見てもらいたい」との声が寄せられています。展示を見た中学生は日中戦争の実態をきちんと受け止める感想を寄せています。

展示する写真の一つは、文京区真砂町生まれの村瀬守保氏が撮ったものです。村瀬氏は戦場写真家ではなく、1937年（昭和12年）に輜重兵として招集され、中国大陆を2年半にわたり転戦し、その間、愛用のカメラで自分の所属する中隊全員の写真を撮ることで、非公式の写真班として認められ、3000枚の戦場写真を撮影した人です。

村瀬氏の写真が広く国民に注目されたきっかけは、2012年に村瀬氏の遺族が、遺品の写真約1000枚分の保存と活用を、日中友好協会に依頼したことから始まります。

日中友好協会は日本兵たちの「人間的な日常」と兵士たちが犯した異常的な加害行為などを、克明に記録した写真を通して、村瀬氏が伝えようとした「戦場の狂気が人間を野獣に変えてしまう」というメッセージを重んじて写真展示パネルを作製しました。

この50枚の写真パネルからセレクトして展示し、戦争の日常と異常、高揚と陰鬱の対比で展示しています。

第3回は無差別爆撃の始まりの一つとして「重慶爆撃」の写真を取り上げ、第4回は日本の民間企業や軍隊により騙され、強制的に連行され、多くの中国人が、炭鉱などで強制的な労働によって命を奪われ、構内「人捨て場」万人抗を取り上げ、第5回は、区教育委員会で問題になっている南京事件（南京虐殺）について、1937年12月日本軍が南京を制圧した後、村瀬氏の従軍日記や南京に駐在した兵士の証言、個人が所有していた日記や陣中日誌で検証して、南京市内で何が行われていたのかを取り上げ、第6回目は昨年は特別企画として“いま、ガザで起きていること”をジェノサイド（虐殺）の実態を写真で示、犠牲になっている女性や子どもたちの現状を取り上げました。第7回目を迎えた今年は、戦後80年。米軍の上陸により唯一地上戦が行われ、戦後は米軍占領下におかれ、返還後から現在まで米軍基地がある事で事件・事故の被害を受けている沖縄の歴史と現状をたどって、再び戦争することのないよう認識を共有できる企画にしたいと考えています。

これらの歴史を知って「戦争とは」を考えてもらい、話し合ってもらうことを目的に

しています。

また、日本が中国を侵略し戦火を広げ、更にアジア・太平洋戦争に拡大した結果、東京大空襲や沖縄の地上戦、広島・長崎の原爆被害へと繋がり、2100万人に及ぶ中国・アジアの犠牲者、310万人もの日本人犠牲者を生みました。

戦争で犠牲になるのは、一般市民、女性や子供たちというのは、ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ攻撃・ジェノサイドでも同じです。そして、一旦戦争を始めると終わらず、犠牲者が増え続けることを教えています。核兵器の使用を絶対に許さず、二度と戦争を繰り返さないために、戦争の加害と被害について語り伝えていく企画にしています。

2. 事業の計画

村瀬守保氏撮影の写真展 戦後80年の今年、沖縄の歴史と現状を写真等で示し、再び戦争をすることのないよう共有できる企画 証言DVD上映 記念講演

「平和を願う文京戦争展」実行委員会

連絡先 小竹紘子

Tel・FAX 03-3828-2949

事業予算書

事業名 第7回平和を願う文京戦争展

団体名 「平和を願う文京戦争展」 実行委員会

収 入		支 出	
単位：円		単位：円	
賛同する団体・個人の寄付	300,000	会場費（展示室・学習室）	53,150
		パネル借用料	30,000
		送料	10,000
		宣伝費（チラシ・ポスター）	130,000
		資料等印刷代	10,000
		講演料	30,000
		会議費	10,000
		予備費	26,850
計	300,000	計	300,000

2025年 月 日

(備考)

平和を願う文京戦争展実行委員会 名簿

	役職	氏名	住所	電話番号
1	実行委員長	小竹紘子	文京区本駒込5-15-12	03-3828-2949
2	副実行委員長	鈴木勝		
3	事務局長	植上一夫		
4	会計	笠井恭子		
5	会計監査	有蘭栄子		
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

平和を願う文京戦争展実行委員会会則

(名称・事務所・連絡先)

第1条 本会は「平和を願う文京戦争展実行委員会」と称し、事務所は
東京都文京区本駒込 5-15-12 電話 03-3828-2949

(目的)

第2条 平和を願って戦争を二度と繰り返さないため、加害と被害の歴史を
伝える戦争展を実施することを目的とする

(活動内容)

第3条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う

- ① 平和を願う文京戦争展を行う
- ② 目的遂行に関すること

(会員構成)

第4条 目的に賛同する文京区内労働組合、団体、個人で構成する

(役員)

第5条 役員は次の通りとする

実行委員長	副実行委員長	事務局長
会計	会計監査	

この会則は、2021年3月15日より

事業実績

2019 年に始まり「平和を願う文京戦争展」は、村瀬守保氏の写真展と文京の空襲の写真
を展示し、証言 DVD の上映、語り部の話を行いました。マスコミに取り上げられたこともあ
り、来場者は 1500 人超でした。

第 2 回の 2020 年はコロナ禍で 500 人、第 3 回の 2021 年はコロナ禍でも 400 人弱、第 4 回
2022 年はコロナ禍第 7 波の下 500 人超、第 5 回 2023 年は 550 人超、第 6 回 2024 年は 300
人の来場者を得ました。

元日本兵が中国での加害体験を語った証言 DVD の上映は 1 日 3 回上映し、戦争は人間を
鬼にしてしまうこと等、証言を聞いて戦争のむごさを実感したとの感想が寄せられていま
す。

多くの人がアンケートの回答を寄せています。

30 歳以下の来場者は、第 1 回 10%、第 2 回 20%、第 3 回 17%弱、第 4 回 23.1%、第 5
回 19.5%、第 6 回 11.3%となりましたが、戦争を知らない若い世代にもっと多く見てほし
いというのは、みんなの願いです。

この面でも、文京区や区教育委員会の後援を得て、働きかけを強められることを期待しま
す。

2025 年 4 月 30 日

確認書

文京区教育委員会 殿

住所（所在地） 文京区本駒込 5-15-12

申請者（申請団体） 平和を願う文京戦争歴史委員会

代表者名 小竹 絃子



文京区教育委員会 共催・後援名義を申請するに当たり、文京区教育委員会
後援名義等使用承認要綱を遵守し、以下の行為は行いません。

- 1 営利を目的とした行為
(物品の販売、会員の勧誘、営利目的事業の宣伝・チラシ配付等の行為)
- 2 政治的又は宗教的な行為
- 3 その他委員会の教育方針等に反する行為

仮に違反した場合、後援名義等使用承認要綱に基づき、後援名義使用の承認を
取消されることを了解しています。